

☆私の意見

## 神戸に 新国際空港を

小林 博司

〔社〕神戸青年会議所 理事長  
〔小〕小林桂株式会社 専務取締役



百余年の昔、わが国は鎖国を解いて幾つかの港を列国に開港することとなった。関西の地で最も有力な候補は堺であった。天下の良港に黒船が入って来て紅毛、碧眼の蛮人どもに跳梁されてはたまらない、堺では猛烈な反対が起った。そして反対する動きのみられない兵庫が俄然クローズアップされることとなった。

かくて兵庫が開港場に選ばれ神戸に発展する。以来、船という国際交通機関によって運ばれた国際情報のセンターとして神戸は栄えた。現在、神戸と堺は都市的機能においても、イメージの点においても比較にならないことは神戸市民の誰もが認めるところではないだろうか。

いま、情報の主体である人間を運ぶ国際交通機関は船から航空機となり、国際情報の集散地は海港ではなく空港になった。資源の乏しいわが国では、知識集約化産業、情報産業への移行がさかんに唱えられているが、残念ながら昔日のごとく情報の中心地でない神戸に情報産業は育ちそうにない。

一方では、神戸をこれまで支えて来た重工業は神戸ではこれ以上伸びる余地もないどころか環境、公害等の立地条件からその事業所の神戸でのウェイトを減らしつつある。

そこでファッション産業の育成が大きくクローズアップされ将来を期待されている。これも情報が集まる「まち」であってこそ今後の発展があり得る。神戸の「まち」を経済的地盤沈下から救い発展させて行くためには国際情報センターの機能を持つこと以外には考えられないのではないだろうか。

そして開港後約百年のいま、神戸はヒステリックに国際空港を拒み、航空審は泉南沖いわば堺を答申した。何かしら歴史の皮肉を思わせてならない。しかしまだ泉南沖が決定したわけではなくその答申の受けとめ方が流動的であるいま、地形的にみても大阪湾の強い西風を考えれば神戸沖案を捨てることはできない。五十年後、百年後を考えて新国際空港の神戸沖誘致運動を提案したい。

お問合せ、お申込みは、最寄りの旅行代理店または下記のパンナムへ。

大阪 06(271)5951 ●名古屋 052(571)5488 ●沖縄 09893(7)0121 ●横浜 045(681)3321 ●東京 03(216)6711 ●京王プラザホテル 03(344)0329 ●ホテル・オークラ 03(582)0111・内線 4800



**PAN AM**®

世界は、大きなわが家です。

大阪↔東京  
毎日

# 送迎ジェット

14:45分発、大阪から出国。  
帰国は、大阪へ18:50分着。

- ① 関西のお客さま専用の「送迎ジェット」です。大阪=東京間を毎日、定時に往復。\*
- ② 大阪14:45→東京15:50/東京17:45→大阪18:50 海外各都市へお出かけの時、
- ③ 出入国手続きは、手慣れた大阪国際空港でできますし、東京はトランジットのみで
- ④ 荷物は自動的に積み換えられているなど、何かと便利です。とくに、混雑時の
- ⑤ 帰国では通関、荷物は大阪で、と専用「送迎ジェット」ならではのよさを発揮。
- ⑥ もちろん東京でのパンナム各便には、行き帰りともスムーズに接続されています。

●好評就航中  
\*大阪→東京間のみは、ご利用できません。

ニュー  
ヨーク  
SP超特急

ロサン  
ゼルス  
SP超特急

ホノルル  
シアトル便

中近東  
世界一郵便

# 随想



カット・徳永卓磨  
版画集「スペインの子供たちへ」より  
サンチャゴ・デ・コンポステラの少女

## 「絵本原画展」

三浦照子

△西宮市大谷記念美術館▽



幼い園児の異例のテープカットでオープンした「絵本原画展」は一カ月の会期中、会場は一種の熱気につつまれていた。日頃の展示ではあまり歓迎されない幼い子供たちが、陳列ケースに頬をよせて展示されている原画と絵本を眺めている傍で、母親がその物語りの説明をするといった様子が広い庭園に囲まれたこの小さな美術館の日常的な風景になっていた。館長はじめ十人ほどの館員は、幼児から学生、主婦など一般をはじめ老

人クラブや専門家の団体など広い範囲の観客層と、開館以来記録的ともいえる入場者の波になかばとまどいながら「夢とメルヘンのふるさと」——絵本原画展」の一カ月を過したのであった。

日本で最初に美術館企画によって催され、児童出版美術という分野に初めて脚光をあてたこの展示は、同じ二月東京都美術館で一般公募により開幕されたやはり日本で初めての「現代童画展」と東西呼応した形で開かれた。現在書店の絵本コーナーに氾濫し、驚くほどの出版部数を持ち、国際的にも高い評価を受けている日本の絵本界には多数の優れた原画家や童画作家が存在しているが、その作品についての評価は一般造形美術の分野からは一歩退いた地点にある。このことの原因は、対象が成人でないこと、純粹絵画の作家に比べて童画作家の層がデザインナー

漫画家、イラストレーター、写真家などまことに広い層におよんでいること、絵本原画は出版という過程を経なくては存在価値がないことなどがあげられるが、今日幼児教育の深まりを背景に高度の印刷技術に支えられて、一、二才児のファースト・ブックから成年層にまたがる多種多様な絵本出版の現状とその原画の美しさと芸術性を認識するために、現在活躍中の多数の作家の作品の展示をし、その中から本来の絵本のあり方、あるいは保育者としての絵本の扱ひ方などを問いかけてみたいという美術館に企画に参加を約束した関係出版八社は、まったく営利を離れ製作者として良心的に、献身的ともいえる協力を注ぎ、この企画を助勢してくれたのであった。

会場に残された二千通をこえるアンケートには、「絵本は子供にとって最初の芸術的なかかわりあいである。その原画を見ることで子供の心に美術館という存在を教えられた」という父親の意見をはじめとして、多少の危惧を抱きながらこの企画を進めて来た美術館や関係者を力づける心暖まるはげましやはじめて来たという美術館に対する賞讃の言葉があった。美術館は、内容のある研究的な展示をすると同時に、常に一般大衆との結びつきも考えなくてはならな

い。今回の展示で市民と美術館の間に最初のつながりが生れ、その親近感が今後の展示に生き続けることを私たちは願って、同時に各新聞やラジオ、テレビ、雑誌にいたるまで多くのマスコミ関係の善意とはげましの中で小さな美術館のこの大きなころみみ、人々にむかえられたことを心から感謝している。

## 自選展を開いて

石腸悦三

△二紀会同人▽



### 「作品探し」

狭まてて作品の置場のない我が家では、作品の保管は並大抵でない。カンパスを枠からはずしては巻いたり、何枚も重ねて枠に張り直したりしたものを家のあちこちの空間に押し込む。ところで、自選展の作品を揃えるためにそれらの散在しているカンパスを集め、枠張りしたり、絵具のハガレを修理したりこれまた大変である。努

力のすえやつと揃った作品を数えりと数点不足。騒ぎはこれから起こる。先ず家探しするも発見出来ず。女房に「大掃除の整理の際捨てたのでは」と私。「いやあなたは何処かへ置き忘れたのでは」と女房の言葉。そんなことをいい争っていても作品は出て来ない。「それなら見当らないあの時代の作品は娘が知っているのではないか」との女房の思ひ出。仕方なしに娘の嫁ぎ先に電話で聞き出すと「ああそれなら私のいた部屋の天井裏に入れてあった」との夢のような返事。やれやれと天井裏探し。うす暗い天井裏は蜘蛛の巣だけでおしまい。それでも一枚一枚の絵を再点検してやつと二枚重ねを発見。あとはどうやらゴミで焼却されたらしい。

### 「再会」

自選展は関係機関や新聞のPRが効果を示したのであろう。多勢の友人や知人が来場してくれた。D君もその一人である。ものもいわずにニッコリして芳名録にDと記入する。昔の幼な顔と名前を無言で記憶にたどつてみる。なんと五〇年前に別れた小学校時代の友D君自身である。彼はよくマンガ

を描いた。それはヤコブソン？の表現様式で、大きいダンゴ鼻、太い葉巻をくわえ、ドタ靴をはいた姿であった。彼はその人物像を用いて、自分流に墨とペンで丹念に描いては人に見せて得意顔であった。そして惜し気もなく小さな友に与えた。私もその一枚をもらった一人である。その時は大変嬉しく貴重品箱にしまい込んで大切にしていたが、いつしか忘却してしまつた。その彼が今立派な画家となつて、自選展の前に立っている。過日金山賞展を見るべく近代美術館に向いたところ彼の渋い色の作品が二点列んでいた。私にはこんな歴史はないが、自分なりに意欲的に取り組んでみたい。

### 「シンメトリーな作品」

自選展に在職中美術教師の仲間だったY先生がひよっこりやつて来てくれた。場内を一巡して、ややしばらく話し合っているうちに「君の作品の面白いのは、みなシ



え・石腸悦三

ンメトリーだなあ。ほらその絵もその絵もそうだろう」と彼は語った。日頃過去の作品群を列べて見る機会がないので気付かなかったが、言われてみると成程その通りである。それらの作品は型通りどつかと腰を据えて躍動的な所がない。しかしそれが私にとってよい方の作品だとすれば、私の中味がそのまま表現されていることにもなる。考えようによっては、自然的でもあるが困ったものである。

## 使用前 使用中 使用後のコト

島田握夢

▲大栄工業株式会社V



随分と久しぶりの三宮である。久しぶりの者にとって地下街とは即ち迷路である。そして当然の如くに迷うわけであり、そうなるのとちあえず浮上し四周をキョロキョロ、これ方向音痴の生活の智慧である。

「この辺が銭湯だった ワシント」

まさかといわれそうだが風呂屋が在ったのである。もちろんセンター街にである。さっそうと行くタカラジエンヌに混って金ダライ小脇に……という長閑な図がセンター街のごく普通の姿だったのである。別段遠い遠い過去のオハナシではなくつい一昔前のことである。

「フタバ園で夏たけなわを 買わされる」

とにかく軒並ビルが口を開け、一体何処が道なのか戸惑うばかりの田舎者にとってフタバ園は楽しい目印である。つまり、此処を北に折れば阪急の西口である。その西口から人の波に加え、此処から西は道幅が狭いというか元のままのため、まるでグリーン席から急に自由席へ放り込まれたようなムードではあるが、浜側と山側のウインドを同時に楽しめる道幅こそ如何にもセンター街である。も

っとも今のセンター街は、腹まきか何かの宣伝に、使用前・使用中和使用後と順次立派になっていくのと似て、西の方からちようどそんな具合である。だから、原宿がまるでそっくりそのまま引越して来たような山側の凄い店舗と比べ、ハリボテの如く耐えている浜側は、過渡期現象とは申せ我慢会の真最中という心境であらう。

「比処だけは 相も変らぬ赤まむし」

このあたりに来れば、大洋劇場の西部劇のカンパンが当然目にとび込んで来なければ寂しいのであるが、そのような激変の中にあつて十年一日蛇のビン詰めが店頭を飾っている！ などまさに砂漠でオアシスの心地である。

「強欲か無欲か 頑張る波板屋」

……こんなええ場所ですタン板商うて何やもつたいたいみたいやなあ、きつとええ値で買ひ手もあるやろになあ……。もちろん下衆の勘ぐりであるが、あのレンガを見上げて通るたびに感じた、いわば心のつぎやきである。……一体どこ行つたんやろか?! 我ながらおせっかいである。

「まわれ右のついで ファミリア ちらと見る」

照れかくしに用もないファミリアのオマルへ一寸足を止め、またおもむろに東へ歩き出す。互いにあの野郎も暇人だわいと瞳のハシッコで意識しあいつつすれちがうセンター街。どんなに街並が変わろうと人間としてのほほえましい営みはずっとずっと変わらない事であらう。

★ある集いその足あと

あすなる

## 腹話術研究会

原正信

△あすなる腹話術研究会々々長▽

そもそも結成の動機は、四十八年度の受講生が、講習を受けただけで後の面倒をみてもらえないことや、特技も使わなのまま忘れてしまう、ということを行い始めたことにあります。そして全員一致で研究会を結成し楽しみながら、人間同士の交流も含めて練習していくことに賛同を得たのです。会員数は約五十名で神戸地区だけでなく姫路にも十名以上の会員がいます。今のところ月例会として月二回、竹村まこと先生に指導



腹話術での漫才という新しい試みを練習中

や助言をしていただきながら練習しています。

会員の人たちの職業は、学生保母、教員、交通指導員、公務員、僧侶、主婦など実に様々です。年令層も幅広いのですが、みんな気の合った仲間というか打ち解けているようです。職業をあげてもわかるように女性が多いのですが、仕事柄というのも、保母さんや交通指導員といった毎日子供と接する仕事を持つ人々ですが！大変役にたっているようです。子供を相手に自分も練習ができるので、どんどん腕があがっていきます。それに子供というのはやはり無邪気なもので人形を見れば素直に喜んでくれます。ですから職業としては関係なくても、子供会の世話をしている人が多いですね。

人形に対する愛情は皆実に細やかで、洋服も着換えさせたり、ヘアスタイルもかえたりします。百貨店で子供服のバーゲンがあると思わず足を運んでしまったり、いつも三才の子供をかかえているような心境になるものです。ぶつかるといけないのでスーツケースに入れて持ち歩いています。家に帰ったらちゃんとソファーに座らせていますし、女房からは、「いい年してお人形遊びですか。」とからかわれる始末です。

腹話術というのは外国でも珍し

く、器用だといわれている日本人でもプロは少ないようです。しかしアマチュアの数多くて、現在各地で実施されている講習会には人が集まっているようです。

この「あすなる腹話術研究会」の実績は、昨年十二月にK・C・Cホールに於て第二回の発表会を開催したことです。姫路・神戸・西宮よりの参加者で成功を収めみんな自信を強めたのはよかったです。今年も十一月に予定しているので、張切ってもらわなくては。例えば腹話術で人形に落語をさせたり、二人使って漫才をさせたりという具合に。人形との対話というのは自閉症の子供の治療にも効果をあげています。大人には口をつぐんでしまう子供も人形にだど話しかけるのです。もっともこの仕事は誰にでもできるというわけではありません。

会の今後の予定としては、実習と勉強のため月に一回程度数人づつで慰問していきます。又東京に本部を持つ「ロゴス腹話術研究会」との合同発表会のようなものも考えています。何か人とかわったことがやってみたいとか、興味を持たれた方は、今月の十日より講習会もあります。私達の研究会も地味ではありますが着実な活動を続けて行きたいと思っています。

鍛えぬかれた  
しにせの味……



## ゴーフル



ほろほろと軽い2枚の洋風  
せんべいに、バニラ、スト  
ロベリー、チョコレートの  
3色のクリームをはさんだ  
爽やかな風味——  
お子さまからお年寄りまで  
巾広く親しまれている  
風月堂の代表銘菓です。



神戸風月堂

本社 神戸元町3丁目 ☎(078)391-2412

美術 古骨  
剣書 画董



伊万里染付大花生(江戸期)  
七五五、〇〇〇円

鑑定 買入

刀剣研磨その他工作

一ヵ月仕上 是非ご用命下さい

神戸市生田区元町通6丁目25番地

刀古骨

美術

元所美術

〒650

TEL078-351-0081

□れんさい随想

# 原田の森の群像

— 関西学院と神戸 —

久山 康

△関西学院院长△

え・石阪 春生



関西学院の創立者ランパス院長は、病を得て二年足らずで米国に帰国されたが、その後を継いで第二代の院長となり大正五年まで二十三年間神戸原田の森時代の学院を指導したのは吉岡善国先生であった。この吉岡院長については、現在文部大臣になられている永井道雄さんが、「朝日ジャーナル」に連載された「大学の庭」の関西学院大学の項を取材された記事に、こういう文章を書かれ

ている。(昭和三十八年十一月二十四日号)

「吉岡は京都の生れ、洋学に志し、早くから秀才のはまれがたかかったが、それ以上にだいいじなのは、キリスト者としての彼が敬虔で真率だったことである。彼が学院をひきいていたころ、原田の森の空気はまことに敬虔な求道者の熱意につつまれ、学院をたずねた内村鑑三は、日本にこれほど真面目な学校があることに感銘したといわれる。



永井さんはこの吉岡院長が学院の校風を作るのにあずかって力があつたとも記されているが、永井さんが吉岡院長に深い尊敬を示されているのはわけがあるのである。それは永井さんの親父である永井柳太郎氏が、実は吉岡院長を頼つて明治三十年代の中頃学院普通部に学んだ人だからである。

当時学院には吉岡院長を顧問にして自助会という会があつた。これは学生がアルバイトで得た金で乳牛一頭を買い、経験のある一学生を中心に乳業の自営を始めたのに端を発し、一時は牛の数も十七頭になり、苦学生を助ける事業に発展した。学生が牛を飼い、乳をしぼり、それを配達したのであるが、この会ではその収入の配分は、働きの応じてではなく、乏しきに依じて分けたという。他の社会とは全く違った物の考え方で、クリスチャン・スクールらしい会であつたのである。

永井柳太郎氏もこの会に加わつたが、少年の頃から足を病んでいた柳太郎氏は、学院に近い布引方面の配達区域を割り当ててもらつた。こうして牛乳缶片手に不自由な足をひきずりながら熊内の野路を急ぐその姿はいじらしく、吉岡院長も深い同情を寄せられたという。

永井氏は、後に早稲田、オックス・フォードに学び、大正昭和の政界に活躍し、拓務、逓信、鉄道の大任を歴任し、「西にレーニン、東に原敬」といった雄弁を議政壇上にふるつて国民の間に名声を博したが、その永井氏も母校同窓会での講演で「私にとつては学院は第二の故郷である。この母校においてキリスト教の感化を受けた。肉体の生国は加賀であるけれども、精神の生国は学院で

ある」と述べて原田の森の教育をなつかしんだ。

吉岡先生は昭和二十三年に八十七才の長寿を完うして亡くなられたが、謹直で古武士の印象を与える人だったという。吉岡先生には面白い伝えが残っている。敗戦直後泥棒の被害が多かつた頃、ある人が先生に泥棒が入つたらどうしたらいいでしょうと聞いたところ、先生は、もし廊下でばつたり出会つたりしたときには、「こら泥棒」などといったら絶対にいけない、「あなたはどなたさまでいらつしやいましょう」といいなさい、と答えられたというのである。先生の令息も学院に学ばれたが、家庭で厳しかっただけでなく、学校で父君の感化を受けられたためであろう、登校下校の途中でお父さんに出逢われると、自分ひとりの時でも、他の生徒と同じように、うやうやしく帽子を取つてお辞儀をしたという。すると先生もまた帽子を取つてお辞儀をなされたという。

この原田の森の教育は私塾のような家庭的雰囲気包まれていたが、そういうなかで今東光氏も大正の初めに中学部に入学した。山田耕笹氏より十年余りおかれてのことである。そして梅棧は双葉より芳し<sup>かん</sup>かつたのか、退学になつてしまつた。しかし学院への愛着は極めて強く、十数年前学院の背後の甲山にロープウェイを敷設する計画を西宮市が進め、それに学院と地元が激しい反対運動を起したとき、今さんは反対の講演会に馳せ参じて獅子吼して下さつた。また先輩の山田耕笹氏を敬愛し、その親交は「黒船」というオペラの共同製作となり、フェスティバル・ホールでの上演となつたことは、多くの人の記憶に残っているとこゝろである。

# 激増、宝塚入學志願

内海 重典

△宝塚歌劇団理事・作者▽

入學志願者六三六名に、合格者四八名。結果的には一三人に一人という酷しい競争率のうちに終った昭和五一年度宝塚音楽学校の入學試験。志願者は都道府県合せて三八。文字通り全国から。一五才から一八才までの子女が集って来たのだから例年の試験通りにはいかず、東京試験場では、二日間で二四七名を、宝塚では三八九名を二日間、そして、両方で残った第一次合格者一八三名を最終日審査という、例年より二日間も余分に試験を行ったのである。

「ベルサイユのばら」の大ヒットが、志願者を増したという世評であるが、それはごくわずかだと思われる。面接諮問で「ベルサイユのばら」をみて宝塚に入りたくなったといったのは、四、五名程度であった。やはりNHKの宝塚音楽学校の生活のレポートTVをみて、あのような酷しい訓練の中に女性としての貴重な体験をしてみたい、そして、自分の青春を宝塚の舞台にぶつけてみたい

というのが、一部の人の入學希望動機でもあった。これも「ベルサイユのばら」のヒットがマスコミによって騒がれ、それからのNHKの取材になったのであるから、要因はやはり「ベルサイユのばら」のヒットである。

宝塚音楽学校の戦後の入試の記録は、終戦後すぐには九〇〇人を越え、それから七〇〇名を越えるという時代もあった。焼野が原になった日本にただひとつの華麗な舞台、夢の世界を描いた宝塚歌劇は、人々に心の安堵を与え、希望の光をともしたことが大きな原因であった。ダンスも声楽の勉強も出来なかった時代だけに、気やすく応募して来たのであろう、容姿が美しければ入學出来た時代ともいえる。

今日の宝塚入試は、そう簡単に合格出来なくなってしまった。すくなくとも一年間の声楽とダンスのレッスンを経験した人でないと、とても入學出来ないという状態がここ十数年以上もつづいて



喜びに湧き悲しみに泣く「狭き門」合格発表の日（4月5日）宝塚音楽学校正門前で。

いる。宝塚音楽学校に別科という夜間の予備校的なものが出来たのもその辺からである。

こういった傾向は、良いのか悪いのか、それは私としては決めがたい。宝塚音楽学校は、二年間宝塚の舞台に送るためのレッスンをするとところなのであるから、その二年間で修得すればいいのであって、入学前は自分の学業に励むのが本来の筋であるかも知れない。

だが一方、若い女性が学業のかたわらダンスとか声楽を、一つの目的をもって懸命にレッスンすることは、決してマイナスにはならないということである。ダンスのレッスンは、若い女性の容姿を、正しく更に美しくするだろうし、声学のレッスンは、正しい発声をするための、日頃の物のしやべり方、そして、ダンスと同じく、胸を張った

正しい姿勢をも作るであろう。芸ごとは女性を美しくする。

受験者の中に、宝塚をうけるためのレッスンで学校の勉強がお留守になったという声はほとんどきけない。大概の両親が、おそくレッスンから帰宅して学校の宿題、つかれるから早く寝るようにいっても、きちんきちんとその日のことを片付けてゆくので、生活にも張りがあったと、喜んで居られる。芸ごとをやるから勉強の方がどンドン落ちて来て……という人に、私は常に聞いて聞かせる。レッスンを始めて学校の成績も上がって来たという人でないと、宝塚に入ってもスタアへの道は歩けませんと――。

芸ごととはそんなものだと思う。知性があった心豊かな人でないとその芸はうわべだけである。例えば、日本舞踊を振付された通りに踊っても、衣裳が美しかった、可愛いかったとだけしか印象に残らない――その歌の心を踊りに現してこそ、いい踊りなのである。声楽もしかりである。ダンスも――すべては、その人の、理解力と表現力があったこそ名舞踊手であり、名歌手であり、名ダンサーである。

今年の宝塚音楽学校の合格者を拾ってみると、やはり東西の名門校から集まっている。果たせなかった人の中にも、神戸高校、神戸女学院といったところの人もいた。宝塚への道はなかなか難しい。だがそれを志すためにファイトを燃す若い女性の勇気に、私は大いに拍手をおくりたい。芸ごとを学んで大いに美しい女性になって受験して下さいと。それだけに、宝塚大劇場の舞台を飾る作者たるわれわれも一作一作に全力投球である。

□追悼随想

# 大先輩

# 原口さんを 偲ぶ

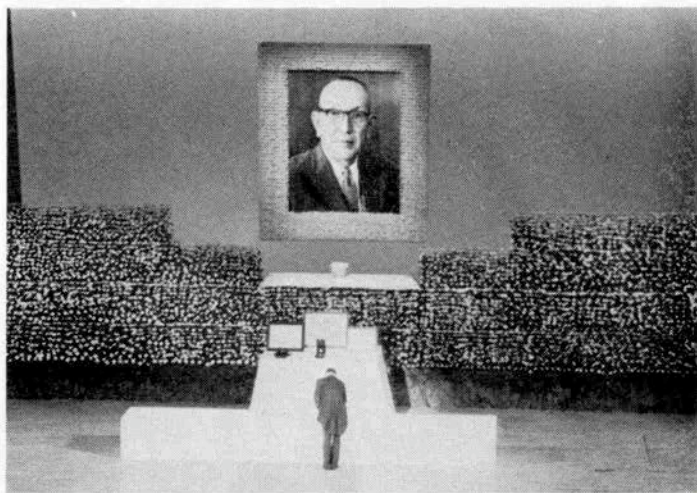
坂井 時忠

△兵庫県知事

敬愛する原口忠次郎先生

世はまさに桜花らんまんの春というのに、なぜかくも悲しいお別れとなってしまったのでしょ  
うか。ふくいくと薫る春の花が、美しければ美しいほどに、この悲しみはたとえようもなく、とめ  
どもない惜別の念が胸にこみあげてきます。

想えば昨年三月、私たちは阪本勝先生という偉  
大な先輩を失ない、一年後の奇しくも同じ日、ま  
たあなたに永遠のお別れを申しあげねばならな  
くになりました。人の世のむなしさ、うつろさに、た



4月6日に行われた原口市長の市民葬

ただただ天を仰いで嘆息するばかりです。”

(昭和51年4月6日、神戸市葬における私の弔辞  
より)

× × ×  
太っ腹で、エネルギーで、行動派だった原  
口さん。

原口さんには、ずい分古くからほんとうに親し  
くさせていただいた。お話をしているだけで、慈  
父に接したような安らぎを覚えたものであるが、  
それには、原口さんが同郷の大先輩であったとい



佐賀県人会で行われた原口、坂井両人の祝賀会、昭和50年3月

うことと、私の岳父との交際が深かったということにも原因があったのだろう。私には一種の甘えがあったのかも知れない。しかし、もうあの佐賀ナマリのご叱正やご指導をいただくこともできなくなっただかと思うと、寂寥ただただひとしおのものを覚える。

原口さんが、地方行政の権威であったことは自他ともに認めるところであるが、それより早く、土木工学の泰斗であったことにその特徴があったのではなからうか。神戸市政に残された偉業の数々は枚挙にいとまがないが、特に阪神高速道路、ポートアイランド、神戸高速鉄道、六甲山の治山

治水事業、都市計画と挙げてくると、そのいずれもが最高の土木技術を駆使しての百年の大計であった。

私が阪神高速道路公団の理事をしていた頃（昭和37年）、神戸市内にも高速道路をとの構想が持ちこまれた。当時、神戸の街の交通事情からしてまだまだハイウエーの必要はない、というのが大方の意見であったが、この建設推進論者がほかならぬ原口さんであった。神戸の街の将来の発展を見通した原口さんの熱っぽい説明が、やがて、時の河野建設大臣の心を動かし、今日の姿を見るにいたったのである。先見の明、まさに驚くべきものがあつたといわざるをえない。

原口さんは、また兵庫県政にも豊富な識見をもって数々のご尽力を賜った。特に八夢のかけ橋といわれてきた本州と四国をつなぐ架橋構想の提唱とその実現への献身的なご活動、阪神播磨沿岸各港湾の整備へのご協力は、天下衆知の事実である。

原口さんはまた、日本海時代を迎えようとする但馬地域の整備のために、老躯をひっさげて、自らヘリコプター上の人となり、沿岸各港湾についての具体的な実地指導をいただいた。

私の脳裏にいまあざやかに刻みこまれている想い出は、すべてこれ原口さんの卓越した識見とあたたかいヒューマニズムによつたものばかりであるが、いま静かにその恩愛の一つひとつをかみしめていると、ポロポロと不覚の涙を禁じえない。

言い尽くせぬ悲哀のうちに、いまはただひたすら大先輩原口さんのご冥福をお祈りするばかりである。

# 低騒音機

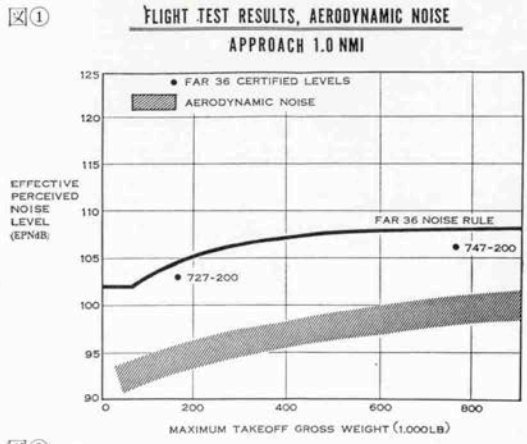
諸岡 博熊

△神戸市企画局参事△

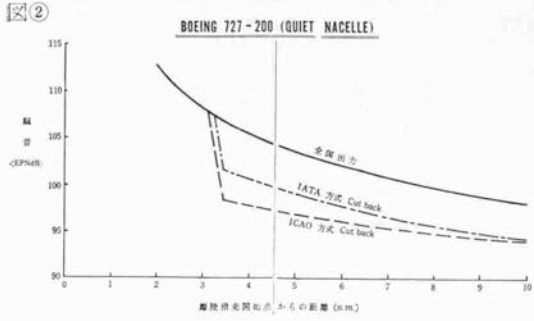
アメリカの航空機メーカーは、質量ともに世界をリードしている。ジェット機が、中、短距離間にまで使用され、騒音が社会問題となってきた。このため、FAA

(米・連邦航空局)は、型式証明発行に当り、昭和四十四年から、騒音規制を追加した。この結果、昭和四十五年以降生産されたものは、この騒音規制基準を下回って静かになってきたといわれる。ちなみに、L・1011やB・74

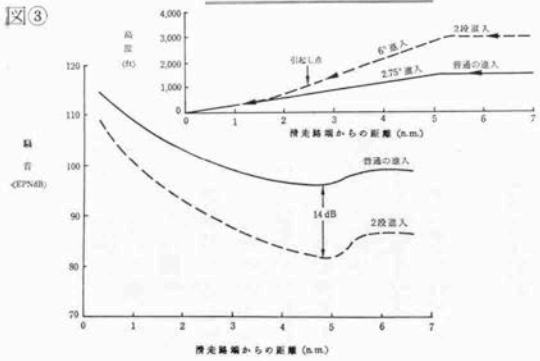
図①



図②



図③



七などがその例。これは、①ターボファン・エンジンのバイパス比を非常に大きくし、大量の空気を比較的遅い速度で後方に噴出させて騒音低下をはかる。②ファン回転翼と後流を導く固定翼間の距離を調整、そこで発生する騒音を減少させる。③エンジン内間に吸音材を張り騒音を吸収するなどの音源対策を実施した結果である。

ところがエンジン騒音が減少しだすと、機体から発生する騒音が問題になってきた。

図①に示す斜線がエアロダイナミック・ノイズといわれる機体騒音である。これを防ぐため、機体の回りで渦流を生じないように回り

の突出部分を整形し、騒音を減少するよう研究が進められている。つきに、飛行方法による改善策がある。図②の離陸時のカットバックの方法③の着陸時の二段進入方法であるが、技術的に高度なテクニックをパイロットに要求されるため、地上と機上の設備の改善が必要である。

かつて、①速度、②航続距離、③経済性、④安全性を主としていたジェット輸送機開発は、現在、①経済性、②低騒音、③高利用度といった騒音低減傾向に研究開発がすすめられている。したがって、低騒音機の出現は時間の問題である。

# MAKE UP WITH ROYAL

あなたのお望みになる

## サングラス

必ずこの中に……………

ヨーロッパサングラスコレクション



### 神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎(321)1212代表

三宮店・さんちかタウン ☎(391)1874~5

元町店は毎水曜日がお休みです

三宮店は第2、第3水曜日がお休みです



きもの  
と  
細貨

# おんがら屋

神戸 本部・仕入部 神戸市東灘区青木五丁目一五〇一五〇九 電話〇七八四五二五二九〇(代)

本店 市街地改造により工事中 昭和五十二年未定完成予定

さんちか店 神戸市生田区三宮町一丁目一 電話〇七八三三三一一七〇〇

銀座コア店 東京都中央区銀座五丁目八二〇 電話 〇三二五七三二五二九八(代)

渋谷東急店 東京都渋谷区道玄坂二丁目二四一 電話 〇三四七七三三四〇九(直)

日本橋東急店 東京都中央区日本橋通一丁目九二 電話 〇三二二一〇五一(代)

池袋バルコ店 東京都豊島区南池袋一丁目二八二 電話 〇三九八七〇五六一(直)

(四階和装名家街)

(四階和装名家街)

(四階きもの小路)



特別企画／神戸経済同友会都市問題委員会メッセ視察団座談会

# ファッション都市づくりの核にメッセ（見本市都市）の設置を

牛尾 吉朗 (ウシオ工業社長)

木口 衛 (ワールド会長)

稲岡 必三 (カネボウ  
バルエイシー社長)

諸岡 博熊 (神戸市企画局)

田畑 弘 (日建設計)

福井 健 (福井商店専務)

植村 孝一 (まからずや洋品店  
代表)

小泉 康夫 (本誌編集長)

神戸はファッション都市を志向しているが、それを具体的に展開していくところが必要とされる。またま、ポートアイランドという市街地中心部に近いところで、広大な土地が、ここ数年内に埋立完了するといわれる。

神戸経済同友会としては、ここに常設メッセを設置し、これを運営することで、ファッション都市の核施設ができ、経済と文化の国際交流する豊かなまちへと発展していくものと考えている。そこでこの構想実現の可能性を打診すべく、メッセの本場ヨーロッパ各地を視察した。視察の最終日、パリで行った座談会が以下である。そこで語られているものは、その問題点の指摘であり、また、これからの神戸のあすを示唆するもので、貴重な記録といえよう。

## ★ヨーロッパの都市とメッセの機能

——神戸経済同友会、都市問題委員会△委員長牛尾吉朗▽が神戸経済同友会提言のためドイツのメッセ△見本市都市▽の機構調査の視察を行い、今、調査スケジュールが消化された時点で、ここパリ、インタール、コンチネルタルホテルのロビーにお集りいただいて視察と調査の印象をお話し願いたいと思います。

牛尾 今回のメッセ視察もパリが最終になりました。当初のスケジュールを消化、見るべきところは見たし、調査すべきところは調査し、非常に意義深く感銘も受けました。特に視察にあたって神戸青年会議所、K・F・Cのメンバーも参加いただき、意見が交換できて幸いでした。



ウィーン、ミュンヘン、デュッセルドルフの各都市のメッセを回って見て、ポートアイランドにメッセの施設なり機構がぜひとも必要であることを身をもって感じました。この調査がもっと早く行われておれば、神戸市当局に対しても、もっと意見が具伸できた残念に思います。何はともあれ、今回の調査をベースにしてポートアイランドのインターナショナル・スクエアの建設に対し神戸経済同友会として、メッセの施設の設置と機構の創設を提言したいと考えております。

木口 私は商工会議所の調査団としてファッション都市の視察にも加わり、今回も参加し、いろいろな視察の機会が得られてよかったです。

現在のヨーロッパのメッセの今の機構をそのまま神戸に置きかえることには疑問がありますが、日本の実情に即したメッセというものを考える必要があるし、物真似では駄目なので、もの考え方を生かした、日本的なメッセを創る必要があることを痛感しました。

神戸で、このメッセを展開する場合、ポートアイランドでの設置を考えた場合、規模においてもかなり制約されたものになりますね。

稲岡 ヨーロッパの場合、国際的な見本市といっても、立地にめぐまれており、各国が隣接している。距離的に近いわけです。今、我々はパリにいますが、パリとデュッセルドルフの間は東京―大阪の感じで、ヨーロッパ全体がひとつの国であるという感じがするんです。



牛尾 吉朗氏

だから、神戸のメッセを考える場合、国内的なメッセはともかく、インターナショナルなメッセである場合、ヨーロッパの規模と参加者の動員力の大きさ、スケールを真似ることはできないでしょう。しかし、それも専門的なメッセの場合、可能性が十分でなくても考えられます。が、ヨーロッパのメッセが歴史を刻み、積み重ねてきた実績というものが背景にあることは忘れてはならないと思います。

福井 このメッセ調査団に参加して、直接ヨーロッパ各地のメッセを視察して、一番感じたことは、メッセが地域の経済に大きな役割を果しているということです。

メッセが多業種の商業にぜひとも必要な機能もっていることも実感しました。こういった機能こそ、国際的なセンスをもっている神戸では是非とも実現させるべきだし、やっていきたい。神戸の経済の地盤沈下の歯止めになると思いますし、当然のことながら前向きな姿勢で取り組みたいということです。

植村 この視察団に参加するように神戸青年会議所の都市問題委員会から指名され、最初、メッセのなんたるかもよく理解しないままに、スタートしましたが、視察団のメンバーのお話をうかがい、また実際に各都市のメッセの施設や開催されている状況を視察して、ようやく納得しましたが、これは大変な視察団に参加したものとびっくりしました。しかし、このメッセの設置がこれからの神戸の都市機能のひとつに組み入れることは、ぜひ



木口 衛氏



福岡 必三氏

ひとも必要なことだと思いましたが、ポータルアイランドへ誘致するために神戸全体にその機運を盛り上げなくてはならないと思いました。

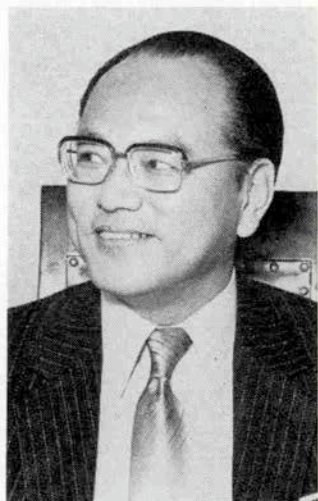
私がこの調査団に参加した段階でも、神戸市民のポータルアイランドに対する意識が非常に薄いわけで、これは否定できないことです。

ここで、ひとつのメッセという新しい発想をポータルアイランドのなかにとり入れることになる、市民の関心も深まり、ポータルアイランドへの意識にも盛り上がりが出てくると思います。

実際に神戸にメッセを設置し運営するということでは日本においてのいろいろな問題があることは事実ですが私はファッション関係の仕事ですが、今回のメッセの場合、幅広い商工業の結束が必要だし、神戸経済全体に広がり連がる問題であることが非常に合意を得やすいことのように思いますね。

神戸のメッセに、日本全国からいかに各業種、いかに多様な人が参加するかということ。確かに地理的条件はヨーロッパとは比較になりませんが、世界の各国から、神戸のメッセに人が集まるということは素晴らしい構想ですね。それは福岡さんがいわれたようにかなりの積み重ねの時間は必要でしょうが、時間の問題を超越して努力する姿勢が欲しいですね。

田畑 私の場合、メッセの施設の立場から視察調査させて貰いましたが、技術的にそれなりに進んでいるという



諸岡 博熊氏

のは、やはり、デュッセルドルフです。しかし建築技術の立場からさほど驚くほどの内容のものではないですね。ミュンヘンのメッセとデュッセルドルフのメッセの施設では随分違います。デュッセルはやはり短期間にあの大きな施設が新設されただけに非常に近代的です。そして機能的に見れば、専門の人だけが利用するようなメッセだけが考えられるとすれば、デュッセルドルフのメッセはそれなりに参考になるでしょうが、まちな核として、メッセを考えると、見本市が開催されていないときのあの漠々とした生氣のないスペースはどうなるのか、といった視点は大切だと感じました。その点、ミュンヘンは施設は一つづつ、つくつたため統一されたものではないのですが、木立に囲まれた良い環境のなかにメッセ施設があり、メッセが開かれなくても、みんなが集まってくる環境をもっている。

神戸の場合、ポータルアイランドのように人工的につくられた島の中いかに、いい環境をつくり出して行くかということに総てがかかっている。勿論、機能的にすぐれていることも大切だが、機能性の追求だけでは、いいメッセ会場にならない、そう思いました。

諸岡 神戸市の五十一年度の予算にメッセの企画運営と調査研究という予算がつきまして、五十一年度はメッセの可能性の問題、メッセが設置できるか、できないか、メッセの資金計画、事業計画、運営計画を五十一年度中に具体的につくれということと予算がついたわけですね。



田畑 弘氏

その前に既に神戸経済同友会が取り上げ提言のなかに  
おりこまれるということです。

今、お話にありましたように、確かに日本的なスケッチ  
が必要だと思えます。ヨーロッパの中でゲルマン系と  
ラテン系とはメッセに対する考え方が違うということ  
があります。よく本質を見極めて、日本的なものをもつ  
てくるのが大切ですね。デュッセルドルフのメッセ会  
場がアメリカ的発想が強いようです。大阪の万博に似  
ています。生活や文化が棲息できる環境が必要ですよ。

田畑さんもいわれましたがミュンヘンのような雰囲気  
が欲しいですね。機械的、機能的なものばかりでは楽し  
さが生まれてきません。大阪の万博もそうでしたが、メ  
ッセが開催されていないとき寂しさを感じるようでは駄目  
です。いかに人が集まって、生活があつて、楽しくする  
か、それが都市の魅力なのです。ポर्टアイランドとし  
ての独特の人が集る魅力をどうもたせるかというのがポ



植村 孝一氏



福井 健氏

イントでしようね。

★すぐれたヨーロッパのメッセの構成

牛尾 今回のメッセ視察で一番羨やましいというか、か  
くあらねばならないと思つたのは。行政と経済界とがメ  
ッセのために完全に意志と行動が統一されているという  
か表裏一体になって動いていることです。

ヨーロッパのメッセの場合、行政が非常に力を入れて  
いる、各都市とも、行政が土台をつくっている。

日本の場合でも行政側がもつと真剣にメッセに取り組  
んでもらいたいと思いますよ。

AUMAという組織があり、NOWEAがあり、そし  
て、IGEDOがある。運営、管理、建設がそれぞれ組  
織をもっているといった構成もすぐれており、この考え  
方は構想のなかにとりいれたいものです。



小泉 康夫



西ドイツデュッセルドルフメッセ本部

稲岡 ヨーロッパのメッセの機構というのは、日本の商社のもっている機能をすくもっていることを感じましたね。日本にいいものがあれば外へ売ろう、外国のいいものを日本にいれようといった商社の動きが必然的に備わっているのがメッセの大きな魅力になっている。

とくに中小企業の製品を海外に紹介する商社の機能をより効果的に十分に果している。日本でメッセを設置する場合、日本の商社は何んであるかを研究して、商社とメッセをつなぎ合わせるという、日本方式を考えると成功する可能性がでますよ。

福井 メッセがヨーロッパにない商社機能の替わりを果している感じですね。日本の場合は総合商社が活躍しているわけですよ。

木口 メッセをつくる場合、その融合は大切でしょうねメッセの本質的なものをとらえないといけない。また、

商社と同じことをやっていたのでは意味がない。  
諸岡 メッセの機構は、例えば、土地建物会社、運営する会社、そこに資本を投資する会社もあるというような複合的な機構が必要だと思うんですが。

牛尾 神戸で考える場合、いままでのヨーロッパのメッセよりもっと素晴らしいメッセが出来ると思うな。

デュッセルドルフの場合でもホテルは市内においている。ミュンヘンも駐車場は大きい、施設としては問題がある。ショッピングもホテルも距離がある。

ポートアイランドの場合はメッセとその周囲を全部コンパクトにまとめたものをつくる、これは理想的なものが出る、だから、いかに企画し、いかにP・Rし、いかに神戸に魅力をもたせるかということになる。それが出来ればメッセは間違いない成功する。

諸岡 それでは。形はいつでも出来ませし、後からの



デュッセルドルフメッセ NOWEA 訪問

方がいいものが出来ます。ただ、デュッセルドルフの場合、専門的な見本市を軸にしていますが、やはり専門的な見本市に地域ぐるみでやる総合見本市を上手に組み合わせる考えなければならぬでしょう。

牛尾 神戸にメッセをつくるということは都市機能をもった文化的なメッセでなければならぬというのは、ひとつの結論であると思う。だから、専門的なメッセを志向しているデュッセルドルフのメッセは、メッセの機能を生かす最良の方向であるわけでもある。つまり専門的なメッセを軸にして総合的なお祭りの見本市を企画しなければ地域社会と遊離してしまうことになる。

★メッセ（見本市都市）は都市間競争である

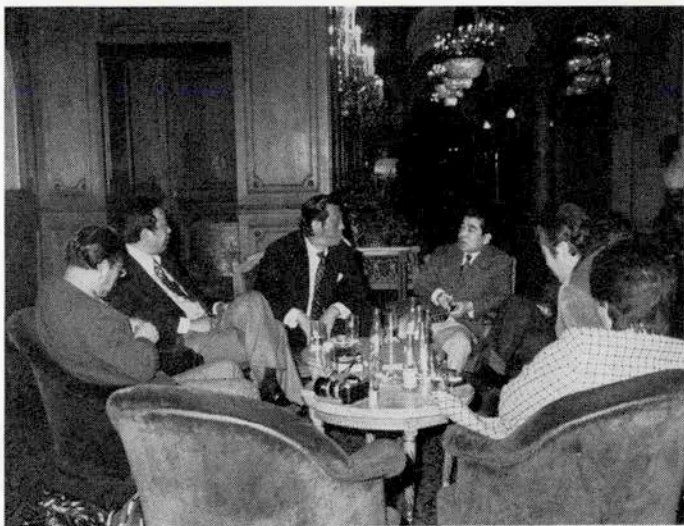


パリ国際センター訪問

諸岡 そのとおりで、専門的なメッセは自然に派生してくると思います。経済活動の原則のようなものです。それよりも大切なことは、メッセはとりもなおさず都市と都市の競争だと思えます。文化戦争だと考えられます。我々の街はこんなに素晴らしいのだという競争のようなものです。これがメッセ、常設見本市都市のあり方でしょう。

木口 パリのC・I・P（パリ国際会議場）を訪問したときパリ商工会議所のメンバーの方が「我々のC・I・Pの仕事はパリ市民のためにやっていることだ」といわれましたがそんな心構えが必要です。実際にポートアイランドに神戸の象徴的なものが出来ないという意味が高

よ。稲岡 話は変わりますが、人間というのは文化程度が高



パリインターコンチネンタルホテル座談会風景

悪いかというところでない。地下鉄があつて、市電があつて、タクシーはぐるっと回っている。広い場所でショッピングを楽しみ、食事を楽しんで、あの雰囲気。これからの都市の本当のあり方じゃないかと思ひます。ポートアイランドにああいった街とメッセがあると日曜日や時間のあるときはポートアイランドでゆっくり楽しめるというのをもつてきたいですね。

**植村** 大きな夢ですけど、日本というより世界から人が集まってくる、そんなポートアイランドをつくりあげて欲しいということです。

**牛尾** 神戸にメッセを設置し、やろうと思えばその可能性は十分ありますよ。

**木口** 市民の中に気運としてそんなものが出来てもいい。出来て当り前、出来るだろうなあとという期待感があるように思ひます。

**牛尾** 今回の視察調査の結果を、神戸経済同友会の提言におこみじます。メッセの設置を行政、経済界に呼びかけるわけですが、これが市民の各層にどのように浸透させるかが一番重大なことです。

第二回、第三回の視察団はもっと大規模に派遣されることを希望し、かつ、そうあるべきかと思ひます。

**諸岡** 最終的には、いかにして魅力のある神戸を創るかということですね。世界中の人が神戸に魅力を感じてくれるかという。そんなまちをつくらないといけないですね。メッセというのも一つの方法です。

**AUMA** |西ドイツ国内での各市見本市を統合した事務局。主として、広告宣伝、開催の調整、海外出張勧誘などとカレンダーの発行。

**NOWEA** |デュッセルドルフ市が設立した見本市協会。主として会場施設貸しと、展示の手伝い。

**IGEDO** |婦人服・子供服・アクセサリー・下着・水着など服飾に関する商工業協会。ノーベアの傘下に入って、年四回展示会を開催する。

くなれば、憩いの場が必要になる。楽しく飲む場所、楽しく遊ぶ場所がなければ、生活文化というのがないわけです。ギャンブル指向性も当然でてる。そういったものを満足させる、アミューズメントなセンターがなければならぬ。

**福井** 確かにそういった要素は必要ですね。カジノや酒場、食べ物の店があれば人は自然に集まる。その上に美術館とか博物館とかいう文化性のもをもつてくる。

**植村** 女性を集める買物の楽しさのある、さんちか、センター街とは一味違う、国際的なショッピングセンターも必要でしょうね。

**木口** この間、ミュンヘンのまちを見て感心したのは市役所の周りを自然が市民の憩いの広場を取巻いていて、広い場所にクルマを全然通さない。ところが交通の便が

---

### ウシオ工業株式会社

取締役社長 牛尾吉朗  
神戸市灘区浜辺通5丁目2の1  
神戸商工貿易センタービル18F  
TEL(078) 251-1651(代)

---

### 田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎俊作  
神戸市灘区旗塚通6の3の10  
TEL(078) 231-3321

---

### オールスタイル株式会社

取締役社長 川上勉  
神戸市生田区伊藤町121  
TEL(078) 321-2111

---

### 株式会社ワールド

会長 木口衛  
神戸市灘区八幡通3丁目1の12  
TEL(078) 251-5311

---

### カネボウベルエイシー株式会社

取締役社長 稲岡必三  
神戸市生田区三宮町1丁目43番地  
TEL(078) 331-3318

---

### 株式会社ベニヤ

取締役社長 松谷富士男  
神戸市生田区三宮町1丁目54  
TEL(078) 331-5585

---

### モロゾフ株式会社

取締役社長 葛野友太郎  
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号  
TEL(078) 851-1594

---

### 入船株式会社

取締役社長 小泉進吉  
神戸市灘区新在家北町1丁目1-19  
(阪神電鉄新在家南) プリコビル3F  
TEL(078) 851-3191

---

### 神戸地下街株式会社

さんちかタウン・サンこうべ  
神戸市生田区三宮町1丁目1  
交通センタービル8F  
TEL(078) 391-4024(代)

---



キャンペーン「ファッション都市神戸を考える」の  
企画は以上9社の提供によるものです。

## 経済ポケット ジャーナル



★同友会本年度総会を開く  
四月九日、神戸銀行倶楽部で神戸経済同友会の昭和51年度通常総会・役員就任披露パーティが開かれた。

総会では代表幹事に井上浩三郎神戸製鋼所専務(留任)と奥村輝之太陽神戸銀行専務(新任)を選出、昨年度の事業報告、収支決算案の承認、新年度の事業計画、収支予算案の審議などが行われた。本年度の主な



披露パーティのもよう

事業方針としては、地域経済の発展、安定した社会関係の形成、企業の存続発展の基盤強化と社会的責任の

遂行と同時にファッション都市づくりにも提言をすることを決定した。

その後、日本開発銀行設備投資研究所特別顧問・経済学博士下村浩氏の記念講演「今年度の景気動向と日本経済のゆくえ」が午後六時前から同倶楽部大食堂で役員就任披露パーティが開かれた。

席上、井上、奥村両氏が新任の、柏井健一柏井紙業社長が退任のあいさつを述べたが、来賓あいさつのおかげで、宮崎辰雄神戸市長が神戸に商品見本市が必要であると述べたことが注目を引いた。

★住友信託銀行神戸支店が「緑とレンガのビル」に一昨年秋より店舗の全面改築工事を進めていた住友信託銀行神戸支店(櫻井修支店長)の第一期工事が完了し、四月二十六日より仮店舗として営業が始まっ

た。第一期工完了部分は地上10階、地下2階の建物で、同支店は地上4階、地下2階を使用する。レンガを張ったノックのビル、神戸・元町にふさわしい建物が出現し、早くも話題になっている。

ひきつづき第2期工事として地上3階、地下2階の新館が来年秋に完成する予定で、この新館の屋上には緑の庭園が造られ、「緑とレンガの銀行」として新しく誕生することになる。

★河野護模工業が社名変更  
河野護模工業株式会社(河野忠博社長)は従来の社名を四月一日付で「カワノ株式会社」に変更した。同社「キッカーズ」ブランドは若者のアイドルとなったが、社名変更を機にファッション産業の一翼を担う同社の今後に期待したい。

★麒麟麦酒支店長に長山氏  
麒麟麦酒株式会社神戸支店の支店長に四月二十八日付で長山和夫氏が就任、昭和四十七年以来支店長を勤めて来た松下親次氏は同日付でホテルエコー株式会社常務取締役役に就任した。



長山和夫氏

新支店長の長山氏は昭和二年生まれで、二十七年東京大学経済学部卒業後、同年麒麟麦酒横浜工場入社。三十八年から人事部勤務課で給与主任、労務主任、労務課長を経て、四十八年神戸支店副支店長、四十九年同支店副支店長、五十年同支店副支店長を歴任している。

### ★ KOBE オフィスレディ ★

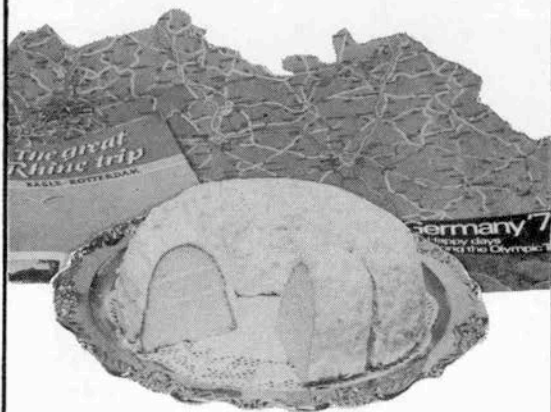


松田 妙子さん (22才)  
大丸神戸店店長室受付

神戸の街を愛するか故に大丸神戸店に勤める事四年。現在店長室の受け付けをする彼女のモットーは、機転をきかし、ミスをしないように心がけ完璧な仕事を旨とする。仕事への意欲はそのまま大好きなテニスにもむけられ、大丸テニス部の新人戦では男子を敗って優勝したというのだからその腕前のはどがしられる。恋人には「テニスができて、何をやっても一味違う人がいいですね」



フランクフルトの  
白い冠  
上品なバターケーキです。



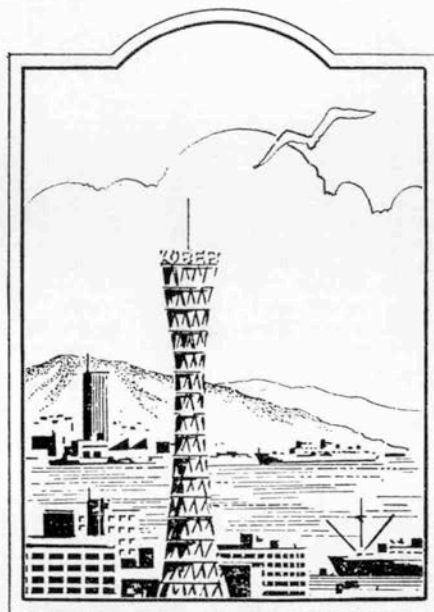
フランクフルター克蘭ツ

ドイツ菓子  
**Fachreim's**  
ユ-ハイム

このマークの店でお買求め下さい

本 店 神戸市生田区下山手通2-31 TEL (078) 331-1694  
三 宮 店 神戸市生田区三宮町3-15 TEL (078) 331-2101  
さんちか店 神戸市生田区三宮町1-1 TEL (078) 391-3539

マイ神戸、マイホテル



潮風が詩い、ファッションが踊る。ミナト町  
神戸のロマンチックな想い出は、神戸タワー  
サイドホテルから———エコノミカルな料金  
システムや、神戸を代表するシーサイドレス  
トランで楽しめるヨーロッパの味。あなたの  
旅のいち日を、心をこめてお迎えいたします。  
シングル¥2,500-¥3,800 ツイン¥6,000 ダブル¥6,800



神戸タワーサイドホテル

〒650 神戸市生田区波止場町1  
TEL (078) 351-2151 (代)